



Fukushima Chuo

◆ 福島中央ロータリークラブ ◆
since 1990

2025年9月3日(水)

第8回(通算1635回) エフズサンパレス

「クラブ活性化ワークショップ報告/
青少年奉仕委員会セミナー報告」

会長あいさつ

2025-26年度会長 鈴木 努



みなさんこんにちは。今日は一つの課題でありました会員名簿が出来上がりました。植木会員の、できるまでの作業努力には感謝申し上げます。後ほど委員会報告の中で苦心した点、うまくいった点とご説明いただきますと思います。その他、地区補助金を活用する時に贈呈品に貼るシールも出来上がりました。各種活動の折りに福島中央ロータリークラブの名称を知っていただく活動をして行きたいと思っています。



さて7月は私自身、新年度を迎え例会、理事会の進め方、各委員長へ活動の依頼、地区の研修会と矢継ぎ早に行事が重なり、皆さんの満足いただけるような運営になっていたでしょうか。特に植木会員増強委員長には大変お世話になり、またお手伝いをいただき、新会員募集には力を入れてまいりました。8人から10人位を訪問したかと思っています。おかげさまで浅野紘太会員が誕生いたしました。今後も理事会、例会でどのような会員増強の方法が良いか、委員会と相談しながら進めていきたいと思っています。

8月には一大行事であります、ガバナーの公式訪問がありました。クラブ協議会、例会では多くの会員の出席をいただき、盛大かつ内容のある会だったと思います感謝申し上げます。先週の家族例会では坂本親睦委員長に大変盛り上げていただきました。みなさんの楽しんでいただいている様子を見て大変嬉しく思いました。

9月に入りました。今現在、地区の各委員会セミナーが開催されております。もうすでに終わられた会員の方にはご苦労様でした。またこれから行かれる会員の方はご苦労様です。いずれ例会で内容発表をしていただきますので、よろしくお願いいたします。

クラブ内でも奉仕プロジェクト委員会を中心に様々な活動が予定されています。来週は青少年奉仕委員会の企画で南福島コアラ学童クラブに、昔懐かしいけん玉等を贈る予定だと聞いています。後ほど小林青少年奉仕委員長より詳しく説明があると思います。ぜひご参加をお願い申し上げます。

また9月24日水曜日には、相楽ガバナー補佐が理事会、夜間例会にご出席いただきます。普段のクラブ活動内容を見ていただき、アドバイス等がありましたら受けたいと思います。多少例年と違う作業手順活動があるかもしれませんが、ロータリー精神の「寛容な心」でご協力いただければ幸いです。

それでは今日の例会も活気あふれる会になりますようお願い申し上げます。ご協力よろしくお願いいたします。

今年の会長方針の一つは、一緒に活動しましょう、です。ありがとうございました。以上です。



福島中央ロータリークラブ会報

事務局 〒960-8051 福島市曾根田町4-22

TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212

E-mail:info@fukushimachuo-rc.com



HP

例会次第

◆開会点鐘 鈴木 努会長

◆国歌斉唱「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 今野 朗会員



◆「四つのテスト」唱和

奉仕プロジェクト委員会 石橋 真一委員

◆お客様並びに来訪ロータリンの紹介

・米山記念奨学生 ヴォロンクエンさん

◆米山記念奨学金の進呈

◆米山記念奨学生のあいさつ

◆ロータリー財団より襟ピンの贈呈

・斎藤 高紀会員 PHF+4 襟ピン

◆9月会員及びパートナーの誕生祝

◆お誕生日会員よりひとこと

◆会長あいさつ 鈴木 努会長

◆ロータリー用語の解説 山田 稔SAA

◆お食事をどうぞ

◆幹事報告 菅野 幸一幹事

◆各委員会報告

・10月のプログラム紹介

プログラム委員会 穴戸 宏行委員長

・ニコニコBOX委員会報告

ニコニコBOX委員会 川瀬 哲雄委員長

・R財団・米山委員会より

R財団・米山委員会 渡邊 英世委員長



・会員名簿について

植木 博隆会員

◆クラブ活性化ワークショップ報告

佐藤 元彦クラブ戦略計画委員長

◆青少年奉仕委員会セミナー報告

小林 潤子青少年奉仕委員長

◆閉会点鐘 鈴木 努会長



クラブ活性化ワークショップ報告

佐藤 元彦クラブ戦略計画委員長

日時：2025年7月19日(土)

会場：郡山ユラックス熱海

2025年7月19日(土)、郡山ユラックス熱海にて「クラブ活性化ワークショップ」が開催されました。

当クラブからの出席は、戦略計画委員長として私一人の参加でしたが、地区の担当として、RLI副委員長の山田稔会員と、ロータリー財団副委員長の佐藤龍史会員が参加しました。この3日後に佐藤龍史会員とお別れする事になり、龍史会員と会った最後の日でした。

ワークショップについては、地区ラーニング委員会副委員長の町田晃さん(郡山南RC)より説明があり、ロータリー章典に定められた地区主催セミナーの一つであり、その目的は「ロータリーの戦略計画と一致する活動への支援と参加に対するロータリアンの意欲を高めること」にあります。ガバナーがプログラム全体の責任者を務め、佐藤正道地区ラーニングファシリテーターが、西山由美子地区会員増強・DEI委員会委員長、善方邦彦公共イメージ・IT委員会委員長、林克重ロータリー財団委員会委員長と連携し、計画・実施されました。

近年、行動計画の推進や「3Years Rolling Goals」など、ロータリーでは新たな取り組みが進められています。このワークショップでは、その目的や意義をあらためて見つめ直し、「どうすれば、いきいき、わくわくするクラブに

なるのか？」をテーマに、参加者同士が楽しく積極的に意見を交わし、学びと気づきを得られる場となるよう企画されました。

プログラムは、佐藤正道地区ラーニングファシリテーターによる基調講演「りゅうぐうロータリークラブから見えてくるクラブの課題と希望」に続き、本講演の事例をもとにしたRLI方式で、グループディスカッションを実施しました。参加者は自クラブの現状を見つめ直し、課題解決や前向きな変化のきっかけを探りました。

当日は、各クラブより約90名の会員が参加し、これからのクラブ活動に有益な気づきを得る機会となりました。

この「クラブ活性化ワークショップ」に参加し、今後のクラブ運営について再確認し、今後当クラブが抱える問題について考える機会となりましたが、やはり当クラブが抱える一番の問題点は、会員数の減少です、3年後には会員数が50人となるように、毎年純増3名を確実に実施出来るよう、植木会員増強委員長と推し進めていきたいと考えていますので、全会員の協力をよろしくお願いいたします。



青少年奉仕委員会セミナー報告

小林 潤子青少年奉仕委員長

日時：2025年8月31日(日)

会場：郡山ユラックス熱海

8/31青少年奉仕委員会・ローターアクト委員会・学友委員会合同セミナーに参加してきました。セミナーⅠ部では、インターアクト委員会・RYLA委員会・青少年交換委員会・ローターアクト委員会・学友委員会のセミナーが行われ、青少年交換委員会では、ROTEXの帰国報告を聞き、学友委員会では、ROTEXであり、福島中央ローターアクトクラブ会長である鈴木奈々江さんからの話を伺いました。その後、Ⅱ部では、青少年関係活動についてのお話の後、グループディスカッションが行われ参加して参りました。

今回のセミナーの印象的だったのは、グループディスカッションです。グループディスカッションでは、参加者のロータリークラブがどのような活動・方針で進めているかがテーマでした。それぞれが、どのような活動をしているかや今後どのような活動をしていきたいか、問題点は何かを話し合いました。現在行っている活動や今後取り組みたい活動は、スポーツに関することが多くあり、あるクラブでは、参加者が少ないため地域の行事にアクトクラブと参加しているとの事でした。その中で問題点としては、参加者や会員が少ないや予算が取れないとの事から活動が

満足に出来ないとの発言もありました。それに対し、単独ではなく共同を考えて活動の輪を広げる方法もあるとの話をいただきました。例えば、青少年交換では、ホストファミリーの数ですが、一年間でホストファミリーは現在半年ずつが多いようです。以前は四家族だったようです。受け入れてくれる家族が少ないのであれば他のロータリークラブにも協力をお願いする方法もあるのではないかなどです。予算が少ないのであれば、ロータリー文庫をすこしばかり寄贈するなどです。

突然ですが、私が青少年奉仕委員会委員長になると別のクラブのロータリアンの方から、「目的と手段をはき違えないように頑張ってください、目的を達成するために青少年奉仕がある」と言われたことがございました。

私は、地区研修協議会も参加いたしましたが、青少年奉仕活動の目的は、いかに次世代のリーダーを育てることに尽力するかとの事また、手続き要覧では「指導力要請活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされる事を意識するものである」と書かれて

いるとお話などでしたが良く意味がわかっておりませんでした。今回グループディスカッションに参加することで、以前言われた言葉や目的が少し理解できたかと思えます。目的とは次世代のリーダーを育てるため、手段として青少年奉仕活動を行うものである。ロータリーで奉仕活動をしたことが、その人の成長のきっかけや糧になり、一人の人材を育てるために出来ることを考えて活動することが青少年奉仕の意味で、また、一人の人材を育成出来るのがロータリークラブなのだと思います。

また活動において、その活動が一人の人材を育成するにはどのような意味があるのかを知って活動して行かなければと思います。そして、目的と意味、このことをクラブ内で共有していかなければならないのではと思います。なぜなら、目的や意味が分からない活動には、正直積極的に活動していこうとは思わないのではないかと思います。私は、優先順位が下がっても仕方の無いことだと思います。青少年奉仕活動だけではなく、今後のロータリークラブの活動では、このことを意識して行いたいと思います。

さて、青少年奉仕活動として来週14:00から学童クラブにおもちゃの寄贈を行います。まず、学童クラブがどのようなものか簡単にと言いますと、小学生の放課後の居場所です。一人で留守番の難しい子供たちがそこで遊んだり、宿題をしたりして過ごしています。法律的には児童

福祉法を元にした放課後児童健全育成事業で、保護者が労働等により昼間家庭にいない都内小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。

今回、寄贈する学童クラブは、南福島コアラ学童クラブで、子供たちのクラスは小学校一年生20名、小学校二年生20名、小学校3456年生60名計100名定員のクラブです。今回、おもちゃは、けん玉・コマ・縄跳び・それに付随する備品となります。現在、子供たちの中では、昔の遊びがはまっているそうです。先生たちは、今のおもちゃと昔のおもちゃの違いなどを生徒たちに話したりしているそうです。昔のおもちゃの現代版が、バイゴマとバイブレードとの事です。今回の寄贈によって、子供たちが昔のことに興味をもったり、より運動したりして寄贈品でたくさん遊んでいただければと思います。

お知らせがございまして、毎年恒例ではありますが、10/19に猪苗代の水草清掃の参加をお願いいたします。確認はしてありませんが、猪苗代の水草清掃は、ロータリークラブの水と衛生月間にちなみ参加活動していると聞きました。出来れば多くのご参加よろしく願いいたします。

青少年奉仕委員会



ロータリー青少年奉仕について

第2530地区 2025～26年度
青少年奉仕委員会委員長
増子博保

2 地区での青少年奉仕委員会の活動

- ①インターアクト委員会
 - ・インターアクトクラブのスポンサークラブ増強(インターアクトクラブ)
 - ・インターアクト主要大会開催支援
 - ・全国インターアクト研究会への参加
- ②RYLA (Rotary Youth Leadership Award) 委員会
 - ・RYLA研修セミナー開催(参加者75%以下)
 - ・全国RYLA研究会への参加
- ③青少年交換委員会
 - ・青少年交換事業(留学生の派遣と受入れ)(参加者75%以下)
 - ・日本青少年交換研究会への参加

1 各RCでの青少年奉仕活動

各ロータリークラブとも、昨年アンケート取った結果、前ページに挙げたように、青少年健全育成やスポーツの技術向上、あるいは子供教育の一端に十分寄与するよう、青少年奉仕活動を行っています。

これらは、間違いなくロータリーの公共イメージの向上に貢献しています。

それでは、地区の青少年奉仕委員会がどんな活動をしているでしょう？

3 ロータリーが目指す青少年奉仕

ロータリーの五大奉仕である青少年奉仕について、

手帳を覗いてみると、青少年奉仕は「ロータリーが世界をより良くするための活動」であり、青少年の健全育成やスポーツの技術向上、あるいは子供教育の一端に十分寄与するよう、青少年奉仕活動を行っています。

また、ロータリーでは、青少年奉仕を「ロータリーは、次世代のリーダーを育てることを大志を掲げています。私たちのプログラムは、教育の機会を広く、若い世代のリーダーシップ、リーダーシップのスキルを身に付け、奉仕の価値観を養うよう活動しています。」と語っています。

両方ともに、リーダー、リーダーシップ、指導力、リーダーシップを育てています。

4 青少年奉仕の組織

だからこそ、地区の青少年奉仕委員会の組織は、

- ・中高生のリーダーを育てる「インターアクト委員会」
- ・青少年の指導者養成プログラムを実施する「RYLA委員会」
- ・留学を通して、異文化を学び、国際理解を促す「青少年交換委員会」

となっているのだと思います。

4 RIJYEM

RIJYEMの支援のもと、次のような事業が行われています。

- ・全国インターアクト研究会
 - 2024～25年度は、4月26～27日に長野県松本市で県庁会議を実施
 - 2024年度は、5月10～11日に松本市で県庁会議を実施すること、計画中
- ・全国RYLA研究会
 - 2024～25年度は、5月10～11日に広島県廿日市市で広島県会議を実施
 - 2024～25年度は、6月7～8日に青森県で青森県会議を実施予定
- ・日本青少年交換研究会
 - 2024～25年度は、6月7～8日に青森県で青森県会議を実施予定

上記のように、各地域で県庁で、インターアクト、RYLA、青少年交換事業のレベル向上のため、全国から関係者が集まり、研究会を実施している。

2024～25年度 国際ロータリー第2530地区

第43回 RYLA 研修会報告書

ダウンロードQRコード



3 RIJYEM

日本の青少年奉仕を支援する組織として「RIJYEM」という組織が存在します。

RIJYEMとは、RI Japan Youth Exchange Multi-District Organizationの略で、一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換事業地区合同組織です。元々は、青少年交換プログラムを実施する組織でしたが、日本ロータリー百周年実行委員会の提言を受け、青少年交換に限らず、青少年事業全般に活動支援を担っています。

RIJYEMは、「全国インターアクト研究会」、「全国RYLA研究会」、「日本青少年交換研究会」というイベントを支援して、インターアクト、RYLA、青少年交換事業のレベル向上を図っています。

ということで、ロータリーが目指す青少年奉仕は、いかに次世代のリーダーを育てることに尽力するかだと思います。

2025年度 猪苗代湖滞水水草回収除去事業

目指せ水質日本一

ボランティア参加のお願い



今年度は、福島県・猪苗代町主催の活動にも参加出来ます

活動日時

当NPO法人主催

10月4日(土)～25日(土) 期間内6回(土・日)

8:00作業集合 9:30開会式 10:00作業開始 11:00過ぎ解散

※福島県・猪苗代町主催(猪苗代湖クリーンアクション)

10月26日(日)・11月1日(土)の2回

集合時間等については福島県・水・大気環境部のHPをごらんください。

活動場所

土曜日 天神浜エリア 10月4日・11日・16日・25日・11月1日

日曜日 松崎浜エリア 10月12日・19日・26日

※雨天・天候不順・その他都合により、活動が中止となる場合があります。

※この事業は、(一社)福島県環境未来創造財団・福島県環境未来創造財団が実施しています。

作業日程表(令和7年度)

当日P.O.法人主催

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

作業日程表

9月会員・パートナーの誕生祝



会員

9月12日 鈴木 和夫会員
9月14日 穴戸 宏行会員
9月17日 佐藤 和子会員
9月25日 渡部九二五郎会員
9月25日 今野 朗会員



パートナー

9月16日 植木 博隆会員のパートナー
9月20日 坂本 和司会員のパートナー
9月20日 佐々木 臣樹会員のパートナー
9月28日 川瀬 哲雄会員のパートナー

米山記念奨学金の進呈



米山記念奨学生 ヴォ ロン クエンさん

ロータリー財団より襟ピンの贈呈



斎藤 高紀会員 PHF+4 襟ピン

幹事報告

菅野 幸一幹事



- 1) 9月のロータリーレートは、1ドル147円です。
- 2) 9月6日(土)13:00～郡山ユラックス熱海にて、「公共イメージ向上セミナー」が開催されます。当クラブからは斎藤 高紀公共イメージ委員長が出席いたします。
- 3) 次週9月10日(水)の例会は、12:30～エフズサンパレスにて「会員スピーチ」となっております。浅野 紘太新会員、佐々木 臣樹会員、川瀬 哲雄会員にスピーチいただく予定です。

10月のプログラム

穴戸 宏行委員長



○10月1日(水) エフズサンパレス 12:30～

「R財団補助金管理セミナー報告」

「職業奉仕委員会セミナー報告」

○10月8日(水) 〈移動例会〉まごころ食堂 12:30～

まごころ食堂 贈呈式(お米、絵本等)

○10月15日(水) 祝日(10/13スポーツの日)休会

○10月23日(木) ウェディング エルティ 18:00～

福島RC・福島南RC合同例会(登録料7,000円)

○10月29日(水) エフズサンパレス 12:30～

「会員スピーチ」渡部九二五郎会員/大出 隆秀会員

●10月29日(水) ウィズもとまち 10月度定例理事会

ロータリー用語の解説

クラブ内研修用スピーチ(第7回)
RLIについて

山田 稔SAA

RLIはRotary Leadership Institute でロータリーリーダーシップ研究会の頭文字をとったものですが、参加型、対話型のセミナー形式でロータリーについての理解を深めるために役立っています。RLIはパート1~3まで分かれており、それぞれのパートに6つのセッションがあります。1つのグループは6人から8人くらいで構成され、ファシリテーターが進行していきます。これは現状のロータリーの知識などは関係なく、第2530地区の様々なクラブから皆さんが参加されますので、他のクラブの現状や活動などを聞くことができますし、そのクラブの出席者に尋ねることもできます。

RLIは地区だけで受講者を管理しているだけでなく全国の受講者を管理していますので、他地区で行われているRLIにも参加することができますし、途中のパート2やパート3からも参加できます。1日のセッションが6つありますので朝から夕方まで時間がかかりますが、1年に3日だけ時間を割いて参加する価値はあると思います。

特に会長エレクトや幹事予定者の方などは、会長の準備として出席する方が多いです。

また、クラブ内の委員会で大委員長をされる方も、委員会についての知識や考え方を整理するのに最適です。

9月28日(日曜日)にPart2がユラックス熱海で9時から開催される予定になっておりますので、ぜひ参加されることをお勧めいたします。



RID21

RID2530 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER VOL.03 2025.9

クラブ会長方針



福島中央RC

会長 鈴木 努

幹事 宮野 幸一

例会日 水曜日 12:30~13:30
例会場 エフサンパレス

【クラブ会長方針】

2025-26年度、福島中央ロータリークラブ第30代会長を務める鈴木努です。クラブの未来に向けて、①クラブ活動の見え方と親睦・友好の推進、②「いっしょに活動しよう」の更なる会員増強による基盤強化の3点を方針に据えます。会費スピーチや例会報告を通じて活動を可視化し、委員会や幹事会を軸とした多様な活動の推進、青少年支援を軸とした社会貢献活動も企画中です。「よいことのために手を取り合おう」の国際メッセージのもと、楽しく意義ある一年を会員とともに過ごします。



24.04.05-07 福島中央ロータリークラブ 会費スピーチ大会



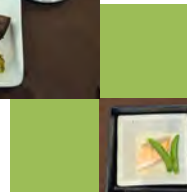
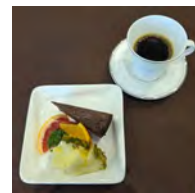
25.07.19 創立30周年記念事業 福島市から広域へお弁当配達

2025-26年度 第2530地区 ガバナー公式訪問



2025年8月20日 福島中央RC

ガバナー月信9月号より



本日の出席率

会員数	41名
出席者総数	26名
うち出席免除会員出席	3/4名
出席率	65.0%



ニコニコBOX委員会報告

川瀬 哲雄委員長

■鈴木 努会長

9月に入りました 今月も一緒に活動しましょう

安藤 正道会員
石橋 真一会員
植木 博隆会員
梅津 寿光会員
大出 隆秀会員
川瀬 哲雄会員
菅野 幸一幹事
小林 潤子会員
今野 朗会員

紺野 信会員
斎藤 高紀会員
斎藤 達也会員
坂本 和司会員
佐藤 和子会員
佐藤 信雄会員
佐藤 元彦会員
穴戸 宏行会員
菅谷 敏会員

鈴木 努会長
丹野 良一会員
芳賀 裕PG
平井 義郎PG
箭内 一典会員
山田 稔会員
渡部九二五郎会員
渡邊 英世会員



目標 150万円

本日の投入額 26件 31,000円

累計 246,331円

福島中央ローターアクトクラブ活動報告

8月23日 釈迦堂川花火大会での梨販売

福島中央RAC

釈迦堂川花火大会

場所: palette
(須賀川市民交流センターtetteの前)
日時: 8月23日(土) 13:00~17:00

梨販売!

- ・カット梨 300円
- ・袋売り(3~5個) 600円~1,000円
- ・箱売り3kg3,000円(発送は+送料)
- ・【受注発送】箱売り(5kg5,000円+送料)

福島中央RAC活動紹介

一緒に活動しませんか?
私たちの活動を紹介します!!

福島中央ローターアクトクラブ
会長: 鈴木奈々江 (090-6223-4184)
会幹: 安達重雄 (070-2621-3067)

Rotaract
District 2530

須賀川で開催された釈迦堂川花火大会に合わせて、福島中央RACの活動紹介と梨の販売をしてきました。須賀川での活動は初めてだったので、須賀川RCの大木さん、藤田さん、須賀川ぼたんRCの味戸さんにはお世話になりました。わからないことが多く、準備していく中で多くのことをご教示いただきました。当日は、カット梨を作ることにしていたため人手が必要だったので、福島学院大学RACの方にも手伝っていただきました。

イベント当日は、とても暑かったので歩いている人が少なく、思っていたようには売れませんでした。そんな中、須賀川市長の大寺さん、福島中央RCの斎藤さん、郡山の米山の学生さんなどロータリーファミリーの方に遊びに来ていただきました。夕方の涼しい時間になると梨が少し売れました。

今回のイベントを通して、様々な課題が見えてきました。新しい場所でのイベントの開催の難しさ、自分たちの目的を改めて見直して次年度に繋げていこうと思っています。初めてのことで手探りではあったのですが、次の活動に繋がれるいい経験になりました。



8月31日 青少年奉仕セミナー

私は今回、学友委員会からの報告として学友委員長の板橋さんと一緒に報告をしてきました。板橋さんからは、これからの学友の必要性やイベントの告知をしていただきました。私は「ロータリーとの関わり」という題で、自分自身の今までの活動、どうしてROTEXからRACに入ったのか、私以外のROTEXの活躍などを話しました。青少年奉仕活動が1つの活動で終わってしまうことがもったいないこと、横との繋がりが大切なことを伝えさせていただきました。

私自身、ROTEXとして活動をしてきて、特に東北の地区の方々とは繋がっていたり、RIJYEMとも繋がっていたりして全国のイベントにも呼んでいただいています。また、昨年度のRACの年次大会ではRACのメンバーだけではなく、ROTEX、青少年交換の学生などにも参加をしてもらい、RACがどんなことをやっているのかを知ってもらう機会になりました。

様々な活動を通して多くの方にRACを知ってもらうことが、自分たちの可能性を広げること、第2530地区を盛り上げていくことに繋がると考えています。これからRAC、IAC、青少年交換、米山の架け橋になりたいと思い、今回の発表をしてきました。

セミナーの合間には、安達会員の家の梨を売り、福島中央RACの活動紹介のブースを出してきました。思っていた以上に梨が売れました。一人でも多くの方にRACの活動を知っていただく機会になりました。

